

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 澤藤電機株式会社
 コード番号 6901 URL <http://www.sawafuji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 清志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加藤 芳宏
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 0276-56-7138

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	28,560	—	261	—	125	—	44	—
20年3月期第3四半期	28,571	8.2	841	107.3	944	64.1	579	63.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	2.06	—
20年3月期第3四半期	26.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	20,675	—	6,202	—	29.2	—	279.81	—
20年3月期	19,411	—	7,061	—	35.5	—	319.26	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 6,040百万円 20年3月期 6,892百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有
現時点では、期末配当予想額は未定であります。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,901	△8.1	△39	—	△176	—	△368	—	△17.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 - ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 - ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期 21,610,000株	20年3月期 21,610,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期 23,799株	20年3月期 22,138株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期 21,586,781株	20年3月期第3四半期 21,578,486株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年11月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を本資料において修正しております。
- 期末配当予想額につきましては、現時点では未定とさせていただきます。通期の業績実績等を総合的に勘案した上でご提案させていただきます。詳細につきましては、本日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1)に係る業績予想の具体的内容は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（2008年4月～2008年12月までの9ヶ月累計、以下「当第3四半期（9か月）」）の世界経済は、米国のサブプライム住宅ローン問題に端を発する金融危機が、2008年9月の米国金融機関の経営破綻に伴い第3四半期に入り実体経済にも大きな影響を与えました。これにより米国のみならず比較的堅調であった欧州の景気が悪化し、景気拡大の続いてきた中国を始めとするアジアでも景気は減速局面に入りました。国内経済も、企業収益が大幅に悪化するとともに雇用情勢など急速に悪化しております。当面、世界的な金融危機の深刻化や株式・為替市場の変動等により、景気の悪化が続くものと見込まれます。

当第3四半期（9か月）の業績につきましては、2008年9月まで比較的景気好調であったアジア向けを中心に自社ブランド発電機の販売増はあるものの、2008年10月以降は、米国に加え、欧州、アジア向けの電装品・発電機・冷蔵庫の販売が大幅に落ち込みました。その結果、売上高は285億60百万円（前年同期比11百万円、0.04%減）となりました。

事業別の売上高は、電装品事業は、米国向けトラック用電装品が約30%の減収に加え、第2四半期（6か月）まで前年同期対比約13%の増収であったアジア向けトラック用電装品が、第3四半期約20%の減収になったことから、当第3四半期（9か月）は91億51百万円と前年同期対比7.7%減となりました。

発電機事業は、北米向けOEM発電機は約8%の減収となったものの、自社ブランド発電機が第3四半期は大幅に減ったものの前年同期対比では増収となり、当第3四半期（9か月）146億77百万円と前年同期対比、8.1%増となりました。

冷蔵庫事業は、オーストラリア向けは、新製品の投入により好調に推移しておりますが為替の影響があり、また、北米向けに加え、欧州向けが前年同期対比約25%の減収となり、当第3四半期（9か月）は40億35百万円と前年同期対比4.9%減となりました。

次に利益面では、原材料価格の高止まりによるコストアップや急激な円高による大幅な為替差損により、営業利益は、2億61百万円（前年同期対比5億80百万円、69.0%減）となりました。経常利益は、1億25百万円（前年同期対比8億19百万円、86.7%減）となりました。また、四半期純利益は44百万円（前年同期対比5億35百万円、92.3%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末は、総資産が206億75百万円となり、前年度末と比較して12億63百万円の増加となりました。これは当第3四半期末が金融機関の休日で、一括信託の決済12億1百万円が翌四半期となっているため現預金が8億89百万円増えていること、直近の売上金額が前年度末に比べ少ないため売掛債権が10億93百万円減少し、棚卸資産が17億49百万円増加したこと、また株価下落により投資有価証券が10億62百万円減少したこと等が主な要因です。負債は、144億72百万円となり、前年度末と比較して21億22百万円の増加となりました。これは在庫増加に伴う支払手形や買掛金の増加が主な要因です。

純資産は、62億2百万円と、前年度末と比較して、8億58百万円の減少となりました。これは配当金の支払1億29百万円と有価証券の評価差額の減少6億32百万円、為替変動による為替換算調整の減少1億34百万円が主な要因です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済については、世界的な金融危機の深刻化、世界経済の減速、株式・為替市場の変動が見込まれ、景気低迷は長期化すると見込まれ、当社を取り巻く環境は、かつてない程厳しい状況にあります。

このような状況において、役員報酬の減額等も含め今後とも一層の合理化を進めることにより、経営体質の強化、業績の向上に努めてまいります。

なお、平成21年3月期の連結業績予想については、第4四半期の為替レートを1US\$=90円、1オーストラリア\$=60円と想定し、売上高349億1百万円、営業損失39百万円、経常損失1億76百万円、当期純損失3億68百万円としております。

また、通期の個別業績予想に関する事項につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性に関しては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前連結会計年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を第1四半期連結会計期間より適用しております。これに伴う、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

追加情報

・有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社は、従来、機械装置の耐用年数を10年又は11年としておりましたが、平成20年度の法人税法改正を契機に有形固定資産の耐用年数を見直し、第1四半期連結会計期間より、機械装置の耐用年数を7年に変更しております。この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ1億29百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,320	1,431
受取手形及び売掛金	5,229	6,322
商品及び製品	3,204	1,616
仕掛品	1,879	1,795
原材料及び貯蔵品	224	146
繰延税金資産	270	261
その他	387	68
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	13,502	11,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,190	1,264
機械装置及び運搬具（純額）	1,272	1,472
土地	1,051	1,060
建設仮勘定	543	177
その他（純額）	370	467
有形固定資産合計	4,429	4,442
無形固定資産	114	45
投資その他の資産		
投資有価証券	2,108	3,171
繰延税金資産	446	41
その他	73	84
投資その他の資産合計	2,628	3,296
固定資産合計	7,172	7,784
資産合計	20,675	19,411

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,524	7,238
短期借入金	757	359
未払法人税等	33	347
製品保証引当金	72	59
賞与引当金	172	454
役員賞与引当金	—	25
繰延税金負債	1	2
その他	1,521	1,291
流動負債合計	12,084	9,778
固定負債		
長期借入金	10	9
退職給付引当金	2,320	2,443
役員退職慰労引当金	55	94
繰延税金負債	—	18
その他	1	6
固定負債合計	2,388	2,572
負債合計	14,472	12,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	117	117
利益剰余金	3,847	3,932
自己株式	△6	△5
株主資本合計	5,038	5,124
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	980	1,613
為替換算調整勘定	20	154
評価・換算差額等合計	1,001	1,767
少数株主持分	162	168
純資産合計	6,202	7,061
負債純資産合計	20,675	19,411

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

売上高	28,560
売上原価	26,507
売上総利益	2,052
販売費及び一般管理費	1,790
営業利益	261
営業外収益	
受取利息	9
受取配当金	71
固定資産賃貸料	36
その他	22
営業外収益合計	139
営業外費用	
支払利息	3
たな卸資産処分損	2
為替差損	245
固定資産賃貸費用	10
その他	13
営業外費用合計	275
経常利益	125
特別利益	
有形固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
有形固定資産処分損	17
特別損失合計	17
税金等調整前四半期純利益	108
法人税等	35
少数株主利益	27
四半期純利益	44

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	28,571
II 売上原価	26,035
売上総利益	2,535
III 販売費及び一般管理費	1,694
営業利益	841
IV 営業外収益	163
V 営業外費用	60
経常利益	944
VI 特別利益	1
VII 特別損失	9
税金等調整前四半期純利益	936
税金等	341
少数株主利益	14
四半期純利益	579